

兵庫県医師会医療支援チーム（第29陣）「宮城県災害支援現地報告」

加古川市加古郡医師会 山根 隆志

仙台空港から目立った渋滞もなく石巻中学に到着しました。途中沿岸部を通り、まだまだがれきの残る現状を目の当たりにし、震災2ヶ月を過ぎて、復興までの道のりの険しさを実感しました。また、風向きによっては魚の腐敗臭を強く感じました。石巻中、住吉中、山下小、山下中、図書館、公民館の各避難所での診療を担当しましたが、いずれも昼間は仕事等で出かけておられる方が多いとのこと、診療を再開している近隣の医療機関も多くなってきていることから、救護所の患者数はかなり減ってきていますし、検査が必要な病状のかたもおられませんでした。日赤でのミーティングでも、来月からは医療支援チームが減るため、各チームの担当エリアの再編を検討していく予定とのことでした。また、毎日夕方のミーティングも土日はなくしていく方向のようです。しかし、昼間は半袖で過ごせるほどの暖かさが続き、各避難所ではハエが増えるなどの衛生面での問題が生じつつあり、夏場に向けての感染症集団発生が懸念されます。

派遣期間中、日赤ロビーでボランティアの方が刺される事件がありましたが、第29陣メンバーは無事3日間の支援を終えることができ、一緒にお仕事させて頂いたメンバーの皆様に改めて感謝申し上げます。

